

第7回 全日本社会人バスケットボール選手権大会

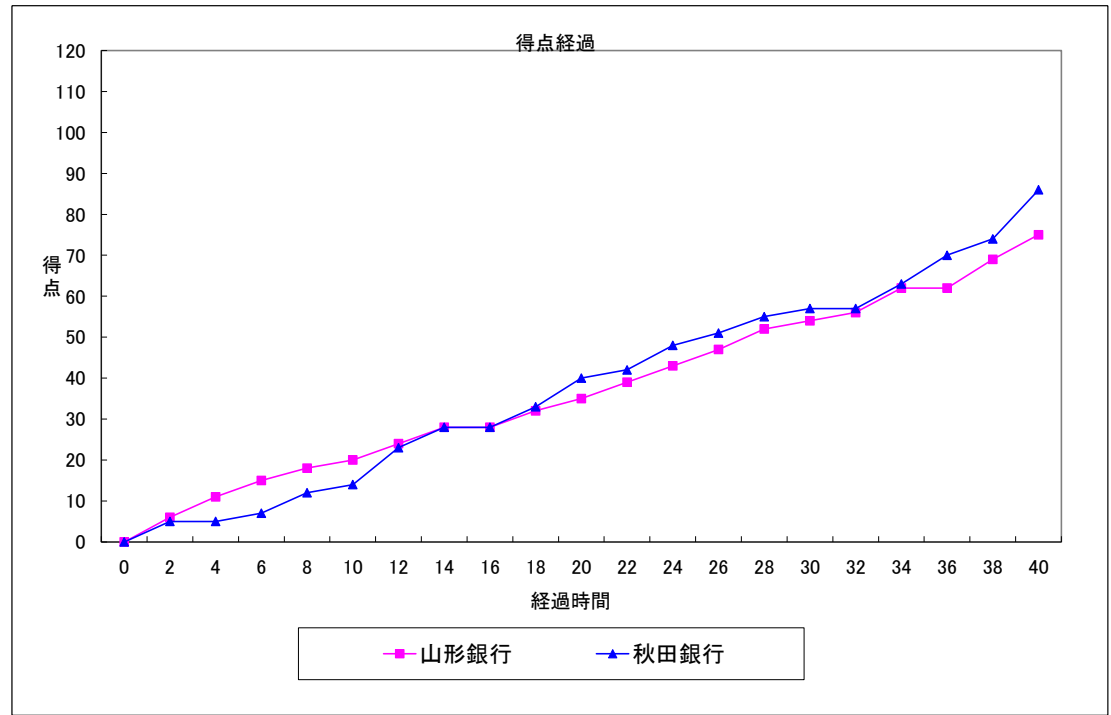
競技結果

実1・東北	山形銀行 75 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>20</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>-</td><td>26</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>21</td><td>-</td><td>29</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	20	-	14	15	-	26	19	-	17	21	-	29	-	-	-	86	実2・東北	秋田銀行	期日	2011年11月6日		
20		-	14																				
15		-	26																				
19		-	17																				
21		-	29																				
-	-	-																					
					試合	F8	コート	A3															
					会場	富山県西部体育センター																	
					主審	栗山 春美																	
					副審	黒岡 和哲																	

連盟	17	18	実1・東北				連盟	47	48	実2・東北			
チーム名	山形銀行						チーム名	秋田銀行					
部長	高橋 節						部長	丹 哲男					
顧問							顧問						
監督	福島雅人						監督	佐藤 忍					
H・コーチ							H・コーチ						
コーチ							コーチ	青木拓郎					
A・コーチ							A・コーチ	永田 剛					
主務・副主務							主務・副主務						
マネジャー	原田園子						マネジャー	黒澤早苗					
トレーナー	大森典子						トレーナー	小清水貴子					

選手名	背番号	得点	3P	2P	FT	PF	選手名	背番号	得点	3P	2P	FT	PF
菅野 恵子	4	12	2	2	2	2	福司恵美子	4	16	0	6	4	4
北野 尚子	5	1	0	0	1	2	佐藤 麻衣	5	10	2	2	0	2
赤川 愛	6						渋谷 愛子	6					
難波 美奈	7						保坂 和音	7	8	0	2	4	2
猪股 優奈	8	8	0	2	4	3	横山 茜理	8	11	1	4	0	3
高橋 清香	9	13	0	6	1	4	幸村 朋美	9					
勝倉 光希	10	2	0	1	0	1	加藤 茉奈美	10	7	1	1	2	0
中谷 歩	11	2	0	1	0	1	佐々木知香	11	2	0	1	0	0
安井 彩	12	0	0	0	0	2	金 吏子	12	9	0	2	5	2
佐々木ゆみ	13	15	3	2	2	1	成田麻紗美	13	4	0	1	2	2
渡邊 千尋	14	14	0	7	0	5	伊藤美和子	14	19	3	4	2	0
青山 彩七	15	8	0	3	2	2							
合計		75	5	24	12	23	合計		86	7	23	19	15

記録: 富山県バスケットボール協会



戦評

1P激しい動きの中でも静かな立ち上がりで、ガードが早くボールを運び、センターを中心に中と外を使う似たタイプの両チームのゲーム運びの展開であり、秋田は山形の中のかたい守りに攻めあぐねる、山形は中からの合わせからの攻めで20-14

2Pに入り、一気に速攻で追い上げ逆に山形がシュートが入らなくなる。残り7分で同点となり、山形がタイムアウト。両チーム膠着状態が続き、オフェンスの突破口が見えず4分が経過する。残り2分で秋田の速攻中心の攻めで6点差つけたところで1:02で山形がタイムアウトをとったが、35-40でハーフを終える。

3Pに入り、7:52で山形のセンター14の4ファウルで下げる。互いに点を取り合い、6:16で41-48で山形タイムアウト。その後山形はディフェンスを上げ54-57まで追いつき3Pが終了する。

4Pに入り、6:33で60-61で秋田がタイムアウトをとる。両チームしのぎを削る攻守で5:02で62-67で山形がタイムアウト。点差が縮まらず3:21で山形タイムアウト。何とか追い上げよとし、1:40で72-74となる。1:05で山形がアンスポをとられフリースローで72-76。両チームタイムアウトが残っておらず、残り50秒で秋田7のシュートで72-78。山形はファウルして自チームのボールの時間を増やすが、フリースローを確実に決められて75-86にひろげられ、みちのく決戦は秋田銀行に微笑み、4年ぶり3回目の優勝を飾った。